

前口動物における付属肢の形態進化

丹羽 尚 (理化学研究所/CDB/形態形成シグナル研究グループ)

前口動物の系統で生じた付属肢の原型と形態的多様化の機構を明らかにする目的で、典型的な2種類の付属肢：関節肢型（節足動物）と無関節肢型（環形動物）の内部形態、発生を比較している。これまでの解析から、外部形態的には全く異なる2型の付属肢にも共通起源性を示唆するようなきわめて類似した筋肉系が存在すること、さらに、両付属肢型に共通してみられる背部感覚器官が、形態的な多様化を引き起こす基盤となっている可能性があることを見い出している。

CLOSE

Javascriptをオフにしている方はブラウザの「閉じる」ボタンでウインドウを閉じてください。